

秋も深まり、朝夕の冷え込みが厳しくなる季節となりました。ふと気がつくと、カレンダーや手帳の残りページがわずかになっており、年末や年度末に向けてますます忙しくなる時期でもあります。そのような中、締め切りが迫って無理をして風邪をひいたり、飲み過ぎて体調を崩したりしないように、普段以上に体調管理（メンテナンス）に気を使う方も多いのではないのでしょうか。私も朝起きて顔の表情を確認したり、必要に応じて体温を測ったりするなど、月並みですがマイペースで体の管理をしています。

さて、今月号は鉄道の安全・安定輸送を維持するために不可

欠なメンテナンスに着目し、今後の展望と確実かつ効率よくメンテナンスを行うための最新の技術を紹介しました。土留め擁壁、軌道、コンクリート電柱、潤滑グリースを対象とした新しいメンテナンス技術や無線センサーネットワークによる監視技術など、幅広く紹介していますので、ぜひご参考にいただければと思います。

来月号の特集は「鉄道総研の試験設備」です。現在鉄道総研には、鉄道分野の研究に特化したさまざまな試験設備があります。これらの試験設備とこれらを活用した研究成果を紹介しませう。どうぞご期待ください。(S.Y.)